

第18回 なるほど！なっとく！！ 高次脳機能障害

～さらなる理解を求めて～

テーマ：高次脳機能障害者の社会的行動障害

～社会的行動障害の背景を考える～

平素は特定非営利活動法人高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」の活動に格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「やる気がない」「人が変わった」「キレやすい」などと誤解される症状が多い高次脳機能障害をお持ちの方たちにとって、周囲の関係者が正しい理解と知識をもって適切な対応をとることが、地域の中でもに暮らしていくためには欠かせません。

こういった状況を踏まえ、笑い太鼓では高次脳機能障害に関わる行政、医療、福祉関係者や、当事者、家族、関心のある一般の方を対象に連続講座を企画しております。

今回の講演会は同封のチラシのとおり、テーマを「社会的行動障害」としました。これまでも何度も取り上げられたテーマですが、様々な症状があるとされ、「注意」「記憶」「遂行機能」といった障害と共に、社会適応を困難にする大きな要因の一つであり、多くの脳損傷者とその周囲の人たちが直面する問題でもあります。

行動障害が、なぜ起きるのか、その行動の意味することは何か、その行動を通して何を発信しようとしているのか。社会適応が困難になる行動障害の背景を一考することにより、高次脳機能障害当事者と社会とのコミュニケーションを考え、互いに理解しあえるコミュニティづくりの足掛かりにしたいと考えます。

講師に、今回のテーマと一緒に考えるにふさわしい種村純先生（川崎医療福祉大学副学長）をお招きして開催いたします。

多くの皆様にご参加いただき、更なる理解と支援の輪が広がることを願っております。

平成27年8月

特定非営利活動法人

高次脳機能障害者支援 「笑い太鼓」

理事長 河合秀矩